

# 令和4年度の新しい取組！

- Topics1. 『鳥獣被害対策セミナー』を実施します。  
 Topics2. 被害対策に関する情報などを、WEB公開します。  
 その名も『鳥獣被害対策のいろは』

2022  
 4  
 Vo.39

# 鳥獣センター通信

発行元 鳥獣被害対策支援センター ☎0985-44-1816

## Topics1

### 『鳥獣被害対策セミナー』

これまで鳥獣被害対策研修については、主に行政職員向けに実施してきました。しかし、農家さん等にも聞いてほしい…そこで今年度、一部研修をセミナーとして実施します！なお、お申込み方法については、鳥獣センターに御連絡をお願いします。

参加費 **無料** 鳥獣被害に困っているあなた！  
**興味がある方はぜひ！** 令和4年度 農家向け 鳥獣被害対策セミナー

|  |  |
|--|--|
| 令和4年5月25日(水)<br>9:30~12:00<br><b>鳥獣被害対策の基礎編</b><br>・被害対策の基本について<br>・農地周辺環境の整備について            | 令和4年6月24日(金)<br>10:00~15:00<br><b>防護柵設置編</b><br>・電気柵、金網柵の設置について<br>・適切な管理方法について                    |
| 令和4年10月下旬<br>(決定次第、更新します。)<br>10:00~15:00<br><b>捕獲対策編</b><br>・被害軽減のための捕獲とは？<br>・箱罠、くくり罠の設置実習 | 令和4年12月上旬<br>(決定次第、更新します。)<br>10:00~15:00<br><b>中型動物対策編</b><br>・アナグマ、タヌキ等の特徴や対策<br>・農地周辺での効率的な捕獲方法 |

【開催場所】 宮崎県総合農業試験場 研修棟 (宮崎市佐土原町下那珂5805)

事前申込みが必要で、期限は開催1週間前までです。受講希望者は、別紙申込み書によりお申込みください。

お問合せ先 宮崎県総合農業試験場 鳥獣被害対策支援センター ☎0985(44)1816



鳥獣被害対策の基礎編

防護柵設置編

捕獲対策編

## Topics2

### 『鳥獣被害対策のいろは』

鳥獣センターでは、鳥獣被害対策を広く普及するため、ホームページを公開しています。『鳥獣被害対策に関すること』『鳥獣被害対策支援センターの活動』を中心に役立つ情報を発信していきますので、ぜひ御覧ください。また、とりあげて欲しいテーマなどありましたら、お知らせください。

宮崎県版！鳥獣被害対策のいろは

更新日：2022年03月24日

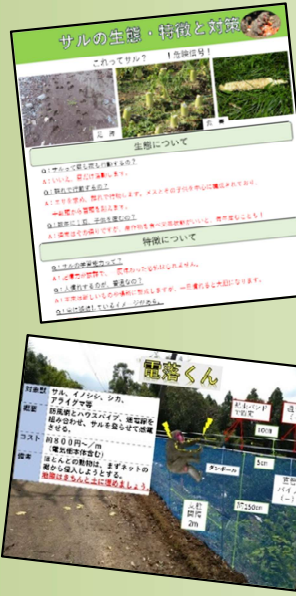
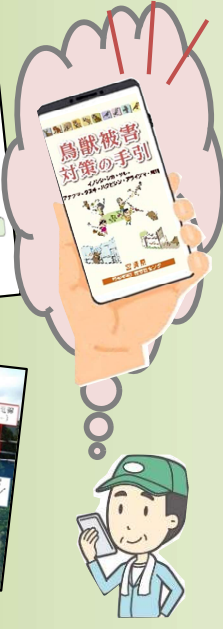
★ホームページを一新しました！（令和4年3月24日）

1.鳥獣被害対策に関すること

鳥獣被害対策に関する様々な情報、被害防止技術についてまとめました。是非御覧ください！  
 『詳細はこちらから』  
[鳥獣被害対策に関すること](#)

2.鳥獣被害対策支援センターの活動

鳥獣被害対策支援センターでは、被害対策に関する研修を主催しています。また、被害防止技術の実証展示も行っています。  
 『詳細はこちらから』  
[鳥獣被害対策支援センターの活動](#)



『鳥獣被害対策のいろは』QRコード



ホームページは  
 こちらから！  
 技術 室屋 敦紀

被害対策に関する問合せ  
 西臼杵支庁及び各農林振興局  
 各市町村・各農協・各森林組合 等

主査 司削 有子

地域の皆様と一緒に鳥獣被害対策に取り組みます。精一杯がんばりますので、よろしくお願ひします。



県民に信頼される、開かれたセンターとして、皆様との連携をより深めたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。  
 センター長 戸高 知也

令和4年度  
 鳥獣センター体制  
 転入者紹介

# ☆鳥獣被害対策地域特命チームだより☆

## 児湯地域

児湯地域では、シカ、イノシシ、サル等による農作物の被害が発生しており、侵入防止対策としてワイヤーメッシュ柵（以後、WM柵）の導入が進んでいます。

今年度新たにWM柵導入を行う地域、また、来年度導入を希望する地域の受益者（西都市、木城町、西米良村）を対象に鳥獣被害防止対策研修会（室内および現地）を開催しました。

### 研修会の開催

各地域における鳥獣被害の現状や鳥獣被害対策の正しい取組の順序、事業上の留意事項等について研修を行いました。作物の残渣や放任果樹、ひこばえ等の無自覚のイサをなくすることや地域みんなで協力し定期的な点検活動を行うこと、防護柵の設置がゴールではなく設置後の適切な維持・管理を地域一帯となつて取り組むことの大切さへの理解が深まりました。



研修会の様子（西米良村）



ルート確認（西都市）



WM柵研修の様子（木城町）

### WM柵設置研修

3年度実施地区では、WM柵の設置の基本を習得するために、ほ場で組立研修を行いました。資材メーカーを招聘し、門扉の設置方法や柵の張り方のポイントについて説明を受けながら熱心に取り組んでいました。

### ルートの確認

4年度実施予定地区では、地区ごとにWM柵の設置ルートの確認を全員で行いました。

適切な設置が行えるよう専門技術員からルート変更の必要性や適切な囲い方のアドバイス等があり、受益者からは「傾斜地での張り方が分かった」、「門扉の設置や侵入箇所対策を詳しく教えてくれたので役に立ちました」等多くの意見があげられました。実際の設置場所でのアドバイスを受けることで、防護柵の正しい設置や管理についてさらに理解が深まりました。

設置は3月中旬を目処に終了しますが、今後も鳥獣被害対策への取組を支援していきます。

## 南那珂地域

南那珂地区では、特命チームの主な活動として、市主催による鳥獣被害対策講習会や鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し侵入防止柵を整備する生産者に対する研修会を開催し、生産者への理解醸成を図っています。

今回は、侵入防止柵設置予定地区での現地研修会について紹介します。

現地研修会は、日南市3地区、串間市2地区のほ場で開催し、特命チームの関係機関職員と地区内の生産者が参加しました。

日南市では、果樹園でWM柵十電気柵によるサル・イノシシ対策、串間市では、水田での電気柵によるイノシシ対策について、柵の種類に応じた設置・管理手法や対象鳥獣の生態について説明を行った後、全員で各ほ場を回りました。

日南市では、現地の状況を確認しながら、生産者と意見交換を行い、設置ルート等の具体的な検討を行いました。さらに、周囲の樹木からの飛び込み防止や緩衝帯整備等の提案についても併せて行いました。

串間市では、ルート上に、道路や橋等があり、さらにたくさんほ場に分散していることから、作業効率が下がらないよう出入口の設置等、管理しやすい柵の提案を行いました。

今回、検討した内容に基づいて再度、計画を見直し、令和4年度の柵整備に向けて準備を進めることとなっています。

特命チームでは、今後も引き続き鳥獣被害対策について研修会等を行いながら、被害が減少するように取り組んでいきます。



現地研修会の様子

